

## 禪問答と画法

年が明け、梅林へ行くと、まだ花は蕾で、閑散としていた。キャンパスを立て、風景を描いていたら、いつもの博学のおじいさんがやってきて“花を描かずして花を表してごらん”と難問を問いかけてきた。果て？果て？どうしたものかと考えを巡らせました。どうも禪問答を挑んでおられるのか？不可能と思われることを要求していると思いました。何日か考えを巡らせ、私なりに解答らしきものを考え、絵に表現してみました。そのきっかけは“雪の色奪いて咲くや梅の花”という句を思い出し、梅の花を雪に見立てて描きました。これが一つの正解かどうかは判りませんが、まだまだ色々あるのではないのでしょうか。

雪で思い出しましたが雪が降りだし、画面に雪が付いては消えていく、そのさなか、一人の老婆が後ろから、雪の降っている情景を描いてはどうかと助言してくれました。私はどう表現したらよいかと思案し、家に帰り、メリケン粉を振りかけたり、サラダオイルをかけたり、砂糖を振りかけたり、色々試し、行き着いたのは、塩でした。これはまず下塗りをして、乾かないうちに塩を振りかけ、水分を吸収させ、画面が乾いてから、塩を取り除くと塩の結晶が残り、雪の様な感じになり、それなりに成功しました。ただし、紙にはよくないように思われます。画法は意外と自然が教えてくれるものです。成人式の日、画面に下塗りをして、まだ乾かないとき、寒風が吹き、その時、画面が一瞬のうちに凍り、ビリビリと氷の結晶ができた。丁度その日に女性の方がスケッチに来られていて、覗かれてどうしたら、このような効果を出すことが出来るのか尋ねられました。私は教えられない、企業秘密だと笑って答えました。すると、“ケチ”と言われました。もちろん、冗談のやりとりです。その後、状況を説明しました。家に帰り、用紙を下塗りして、冷凍庫に入れてみましたが、そのような効果は出てきませんでした。後で、化学の講師をしている方に話すと、表面積が広く、突風によって、瞬間的に冷やされると、そのような現象が出て不思議ではないでしょう。と話され、説得力があるように思われました。